



県立柿崎病院の無床診療化には反対表明を



橋爪 法一（日本共産党議員団）

Q 県病院局が県立柿崎病院の将来の方向性として「無床診療所化も選択肢の一つ」としている。命と健康を守る砦が無くなるため、上越市北部に住む市民にとっては許しがたい問題である。これについてきっぱりと反対を表明する考えはないか。

A 病床規模の一定の見直しはやむを得ないが、地域住民や医療従事者への丁寧な説明と情報提供を行い、理解を得ながら進めるよう働きかけていく。

市民による消火栓使用の検討状況は

Q 令和7年12月定例会において、地域協議会等と協議し、市民による消火栓使用の必要性を検討することだったが、検討結果はどうか。

A 市民が消火栓を使った消火活動を規制する法令などはない。市民の「自らの地域は自らの手で守りたい」との強い思いに報いるために、安全対策を講じた上で市民の消火栓使用について検討を進めている。



これからの春日山観光



小林 和孝（市民クラブ）

Q 令和7年7月に策定された「春日山地域観光コンテンツ計画」「春日山地域回遊観光計画」「春日山地域における既存施設の活用構想」に基づく、今後の春日山地域の観光施策について聞きたい。

A 3つの計画等に基づき、令和7年度にはサイン整備、令和8年度はトイレ改修を進めている。今後の春日山地域の観光に係る事業展開については、令和12年の上杉謙信公生誕500年という大きな節目を控える中で、引き続きハード、ソフトの施策を一体的かつ計画的に推進していくことが必要であると考えており、3つの計画等で定めた指針を活用しながら、観光客の受け入れ環境の整備を始め、誘客に資する取組の具体化を図っていく。

Q 分かり易くスケジュール化して、市民に示す考えはないか。

A 第7次総合計画後期基本計画の策定及び第3次財政計画の改定における通年観光計画の整理がつけば、ロードマップ的なものを作り、市民に示して、生誕500年に向けた進め方を説明できるようにしたい。時期的には年度末か新年度早々と考えているが、明確に言える段階ではない。



スマイルミーティング 若い世代との対話を



関川 信之（つなぐ）

Q 中学生や高校生を対象とした対話集会を開催する考えはないか。

A 多様な世代に寄り添いながら、まちづくりを進めたいと考えており、中学生や高校生を対象として、地域の魅力や課題など若者世代ならではの意見を聞く機会を設けたい。

トイレカーに宣伝広告を

Q 今後導入予定のものも含め、トイレカーに宣伝広告を入れる考えはないか。

A トイレカーを活用した宣伝については、まずは市が発信している防災関連情報を掲載し、市民の防災意識の向上を図るとともに、民間企業等の広告を掲載し、その広告料をトイレカーの維持管理費の一部に充てるなど、現在、双方の観点から検討を進めている。

